

2019年11月29日

<報道関係各位>

株式会社 **アデランス**

～アデランス産学連携～ 第10回癌・炎症と抗酸化研究会(CIA研究会)にて アデランスがモーニングセミナーを共催

毛髪・美容・健康のウェルネス産業の株式会社アデランス（本社：東京都新宿区、代表取締役社長 津村 佳宏）は、2019年11月9日（土）にソレイユ（大分県大分市）にて開催された第10回癌・炎症と抗酸化研究会（CIA研究会）で、アデランスがスポンサーシップをとるモーニングセミナーを共催しました。

会期中の11月9日（土）にアデランス共催のセミナーが実施され、国立病院機構 仙台医療センター乳腺外科 医長の渡辺 隆紀先生と、アデランスとの共同研究を進める大分大学医学部 消化器・小児外科学講座の佐川 倫子先生が講演し、慶應義塾大学医学部外科 教授の北川 雄光先生が座長を務めました。



左より、佐川先生、北川先生、渡辺先生

癌・炎症と抗酸化研究会（CIA研究会）は大分大学が中心となり、内視鏡治療の世界的な権威である大分大学 北野 正剛学長が代表を務め、この分野ではトップクラスの研究実績を有する大学や病院・企業が参加する医学研究会です。

癌や炎症にかかわるさまざまなテーマについて生体の根源的な現象である「抗酸化」の観点から、病態解明および新たな治療法開発を目指して研究を推進しています。

第10回となる今回は「温故創新—10年を振り返り、次世代へ繋ぐ—」をテーマに大分県大分市で開催され、アデランスが本学会に共催するのは5回目となります。

アデランスはトータルヘアソリューションにおけるリーディング企業の使命として、経営理念の一つである「最高の商品」の開発および毛髪関連業界の発展を目指し、機能性人工毛髪や医療用ウィッグの研究開発、育毛・ヘアスカルプケア関連研究、抗がん剤脱毛抑制研究など、産学連携にて毛髪関連の研究を積極的に取り組んでおります。

その産学共同研究の成果を国内外の学会を通じて発信していくことは、毛髪界の更なる進展となり、ひいては多くの方の髪の悩みの解消に寄与し、当社のCSR（企業の社会的責任）であると考えております。

■アデランスモーニングセミナー 講演概要

テーマ

「次世代の抗酸化研究を切り拓く」

座長

慶應義塾大学医学部外科 教授

北川 雄光 先生

演題 1

乳癌化学療法における脱毛とアピアランスケア

演者

国立病院機構 仙台医療センター 乳腺外科 医長

渡辺 隆紀 先生

講演内容

現在、乳癌患者は急速に増加しており、女性 10 人に 1 人が乳癌に罹患する時代になった。乳癌罹患年齢の平均は 50 歳と若く、また薬物療法が効きやすいことが乳癌の大きな特徴である。このため、乳癌患者の多くは、妻、母、そして仕事などで社会的に活発な活動を行っている。乳癌の化学療法による脱毛は、ほぼ 100%ウィッグを必要とする脱毛であり、「他人から見える副作用」でもある。脱毛は患者の精神的な QOL を非常に低下させるため、仙台医療センターでは 2005 年に医療者だけでなく美容専門家も加えた脱毛対策チームを立ち上げて活動してきた。また、2011 年には乳癌の脱毛対策に関心を持つ施設が集まり、乳癌化療に伴う脱毛患者サポートのウィッグが作られ活動を開始した。まず行ったのは、全国の乳癌を積極的に治療している病院での脱毛対策の現状調査である。その結果、積極的な患者サポートを行っているのはわずかな施設にとどまることが明らかになった。さらに 2013 年に患者に対する脱毛の実態調査を行った。その結果、化療中の副作用のなかでは脱毛が最もつらい副作用であり、99.9%の患者が化療によって脱毛したことなどが明らかになった。

当日はウィッグの使用頻度や脱毛の時期、部位、再発毛の毛髪の時期・状況・程度などを解説する予定である。また、近年行われるようになってきた脱毛予防としての頭皮冷却の現状などについても報告した。

演題 2

新規 α リポ酸誘導体による予防薬の開発と臨床応用に向けて

演者

大分大学医学部 消化器・小児外科学講座

佐川 倫子 先生

講演内容

我々は新規 α リポ酸誘導体のもつ抗炎症作用、抗酸化作用に注目し、炎症性疾患、アレルギー性疾患、癌、抗癌剤副作用の治療法としての可能性を探る研究を行ってきた。抗癌剤副作用の中でも効果的な予防法がなく、頻度の高い抗癌剤脱毛に着目し、新規 α リポ酸誘導体の脱毛予防効果を動物実験で明らかにし、2013 年からは株式会社アデランスと共同研究という形で研究を進めてきた。さらに抗癌剤誘発脱毛に対する新規 α リポ酸誘導体の有用性を検証する多施設共同臨床試験を行い、抗癌剤誘発脱毛からの回復促進を示唆する成果を 2019 年に報告した。そして本成果を臨床現場へ還元すべく、新規 α リポ酸誘導体を含むスカルプローションの製品化・販売を実現した。

今回は動物実験から臨床試験に至るまでの道のりを振り返り、報告した。



渡辺先生による講演中の様子



佐川先生による講演中の様子

学会概要

学会名称 : 第 10 回癌・炎症と抗酸化研究会 (CIA 研究会)

当番世話人 : 大分大学医学部 消火器・小児外科学講座 教授
猪股 雅史 先生

会 期 : 2019 年 11 月 9 日 (土)

会 場 : ソレイユ (大分県大分市)